

令和2年度の取組（案）

令和2年6月

南 城 市

1 今年度の取組概要(案)

- 今年度は6月1日(月)から、1日乗車券の販売を開始しています。
- 今後は、公共交通だよりの作成、Nバス無料期間の設定、利用促進イベントを実施します。
- また、今年度は2016年度(平成28年度)に策定した「南城市地域公共交通網形成計画」の中間評価年度になっていることから、評価のために市民アンケート及び観光客アンケートを実施します。

表 1.今年度の取組概要(案)

区分	取組名	概要
公共交通 利用促進策	1日乗車券の販売	6月1日よりNバスの1日乗車券を販売。大人1日700円。
	公共交通便りの作成	年2回、南城市全世帯に発行
	Nバス無料期間の設定	Nバスの利用促進に向け、年に数回、無料期間を設定
	利用促進イベントの実施	Nバスの周年イベント、クリスマス、バレンタイン等の行事にあわせたイベントを実施予定
	観光客向けツアー	シニア、女子旅、企業の福利厚生向きの旅行などを検討
網計画の中 間評価	市民アンケート	市民を対象に、再編後の交通サービスに対する評価等を把握
	観光客アンケート	観光客を対象に、再編後の交通サービスに対する評価等を把握
	中間評価	上記調査結果等をもとに網計画の施策の実施状況や、目標値の達成状況を評価。



図-1.バレンタインのイベント(令和2年2月)

2 公共交通利用促進策

2.1 1日乗車券の販売

- 6月1日（月）より、Nバスの乗り継ぎ利便性の向上、Nバスを使った市内の回遊促進を図るため、1日乗車券を販売しました。
- 1日乗車券は、沖縄バス南城出張所（南城市役所1階レストラン隣）で販売しています。
- また、南城市観光協会、あざま共同売店においても試験販売を行っています。

表 2.1 1日乗車券の料金

区分	通常運賃	回数券	1日乗車券	1日乗車券の元を取る利用回数	
				通常運賃	回数券
大人	300円	160円	700円	2.3回	4.4回
中高生	300円	80円	500円	1.7回	6.3回
小人	150	80円	350円	2.3回	4.4回

※未就学児は無料



図-2.1 1日乗車券

2.2 公共交通便りの作成

- 網計画の施策 5-6.モビリティ・マネジメントの一環として、夏期と冬期の 2 回、公共交通便りを作成します。
- 直近では、7月の発行を予定しています。

表 3.公共交通だよりの仕様

項目	内容
用紙	A4、両面、カラー
部数	15,000部
発行回数	年2回

表 4.公共交通だよりの記載内容(案)

回数	時期	記載内容
第1回	7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナへの対応について ● 1日乗車券の販売について ● Nバス・路線バスの案内について
第2回	2~3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 無料運行の結果について ● 公共交通マップについて ● 市民・観光客アンケートの結果について

第6号(2020.3)

南城市公共交通だよ

令和元年10月1日より南城市のバスが生まれ変わりました!

令和元年9月28日に、南城市役所にて公共交通再編の出発式が開催されました。再編により新たに運行を開始したNバスは南城市役所を拠点に市内各方面に運行しています。



令和元年10月1日~22日の22日間はNバスの無料運行を行い、多くの方に利用していただきました。

市役所バス停

Nバスでは市民向けにお得な回数券(1冊10枚つづり)を販売しています。市役所1階の沖縄バス南城出張所で取り扱っています。(大人1,600円/冊、小中高生800円/冊)1回あたり大人160円、高校生まで80円まで利用できます。
※購入の際は、住所が確認できるものをご提示ください。

乗り継ぎ拠点となっている市役所では共有スペースにてバスをお待ちいただけます。(FreeWi-Fiあり)また、カフェ&レストラン「なんじい Jr」も併設しています。

共有スペース
毎日9:00~21:30
カフェ&レストラン「なんじい Jr」
平日10:00~17:00(L.O.16:30)



Nバスでのおでかけについて

Nバスには1日平均約、平日は400人前後、土日祝日は約130~200人の方にご利用いただいています。朝夕の通勤通学で多く利用していただいています。朝夕の休日のおでかけにも便利です。皆で乗って支えましょう。南城市の観光サイト「らしいね南城市」にNバスでの市内主要観光地へのアクセスが掲載されていますので、おでかけの際に是非、ご覧ください。B2系統で、二ライカナイ橋からの絶景が楽しめます。



区間	平日	土曜日	日祝日
R1.11	413	173	132
R1.12	391	173	145
R2.1	430	198	141

「らしいね南城市」の「Nバスで行こう」
<http://www.kankou-nanjo.okinawa/tokusyuu/view/nbus>

<Nバスでの主なおでかけスポット>
・奥武島・シュガーホール
・安座真港(久高島)、香場御嶽
・新原ビーチ、知念峠公園、玉泉洞 等

市役所にバス案内所を設置しています

市役所のバス案内所には、Nバス等の乗り換え案内を行う南城市公共交通アテンダント「Nバス娘(略称:エヌムス)」が配置されています。〇〇にいくのはどのバス?、どこで乗り換えたらいい?などご不明な点がありましたら、お気軽にお声かけください。

市外への幹線バスも便利になりました
那覇向けへの幹線バスは市役所から約20分間隔で運行しておりとても便利になっています。(那覇~市役所も同じ便数で運行しています。)
※土日祝日ダイヤは便数が異なります。

エヌムスのフェイスブックもあります。
<https://www.facebook.com/pages/category/Transit-Stop/>
南城市公共交通アテンダント-Nバス娘-112980040257213/



「おでかけなんじい」新車両で運行開始!!

令和元年12月より、「おでかけなんじい」の車両が生まれ変わりました。これまでと同じ青、赤、緑の4色のデザインとなっています。引き続きのご利用よろしくお願い致します。



発行：南城市企画部企画課

図-3.前回の公共交通だよ

3 中間評価

3.1 市民アンケート

- 網計画の評価、2019年10月の再編後の公共交通の利用状況、新型コロナによる行動変容の実態等を把握するため、市民アンケートを実施します。
- 網計画策定時のアンケート結果との比較により、網計画の評価を行うことから、調査方法は自治会長を通じた配布回収を、調査実施は10月を想定していますが、調査方法、調査時期については新型コロナの影響を見極めながら検討します。

表 5.市民アンケートの調査概要(案)

項目	H28 調査	R2 調査
調査対象	15歳以上の南城市民	同左
調査方法	自治会長を通じた訪問配布、訪問回収	同左
配布票数	68行政区×20世帯×3部=4,080部	68行政区×20世帯×3部=4,080部
想定回収数	回収率30%と想定して、1,224票 (実際は2,018票回収、回収率49.5%)	回収率40%と想定して、1,632票
調査実施時期	9月~10月	10月

表 6.市民アンケートの把握項目(案)

区分	H28 調査	R2 調査	該当する網計画の目標値
属性	性別、年齢、住所、運転免許の有無	同左	
移動実態と公共交通の利用状況	公共交通の認知度	—	
	おでかけなんじいの認知度、利用の有無	—	
	通勤・通学・買い物・その他私用の目的別外出状況(頻度、行き先、交通手段)	通勤・通学・買い物・通院・その他私用の目的別外出状況(頻度、行き先、交通手段)	公共交通の分担率
	—	新型コロナ後の外出頻度、外出先、交通手段の変化	
乗り継ぎ等の実態・問題点・要望	公共交通の利用状況	—	
	公共交通を利用しない理由	同左+乗り継ぎに関して不便な点	
	公共交通の乗り継ぎの有無	—	
	乗り継ぎ利用時の目的地	—	
	乗り継ぎ場所	—	
	乗り継ぎの問題点	—	
	バス停までの送迎の有無	—	
	送迎時のバス停、目的地	—	
公共交通の再編の評価	—	公共交通再編の認知度、再編事業毎の認知度	
	—	再編後の移動手段の変化	
	—	Nバスの認知度、利用の頻度、幹線バスとの乗り継ぎの有無	
	—	幹線バス、おでかけなんじい、タクシー、航路の利用頻度の変化	
	—	南城市の公共交通サービスの評価	路線バスルート、路線バスの運行頻度、路線バスの運賃、路線のわかりやすさ、バス停の整備状況の満足度(前回はH27に調査)
	—	再編後の公共交通サービスへの要望	
新たな公共交通網の考え方	市外のネットワーク形成意向	—	
	市外の立ち寄り施設・ルート of 提案	—	
	市内の立ち寄り施設・ルート of 提案	—	
新たな交通拠点の考え方	交通拠点の機能・施設の要望	—	
	交通拠点の観光客向けの機能・施設の要望	—	
その他	自由意見	同左	

3.2 観光客アンケート

- 網計画の評価、2019年10月の再編後の公共交通の利用状況、新型コロナによる行動変容の実態等を把握するため、観光客アンケートを実施します。
- 網計画策定時のアンケート結果との比較により、網計画の評価を行うことから、調査方法は主要観光地での観光客への聞き取り調査を、調査実施は8～9月を想定していますが、調査方法、調査時期については新型コロナの影響を見極めながら検討します。

表 7.観光客アンケートの調査概要(案)

項目	H27 調査	R2 調査
調査対象施設	おきなわワールド、がんじゅう駅・南城市地域物産館、カフェくるくま、あざまサンサンビーチ・安座真港船待合所、ユインチホテル南城の5箇所	左記にいまいゆ市場を追加した6箇所（H30調査と同一箇所）
調査対象	対象施設を訪れた18歳以上の観光客（県内居住者含む）	同左
調査方法	調査員によるアンケート実施	同左
回収票数	目標500票（回収596票）	同左
調査実施時期	9月	8～9月

表 8.観光客アンケートの把握項目(案)

区分	H27 調査	R2 調査	該当する網計画の目標値
属性	性別、年齢、居住地、運転免許の有無	同左	
	グループ類型	同左	
	沖縄への訪問回数	同左	
	南城市への訪問回数	同左	
	沖縄県と南城市の滞在日数	同左	
	沖縄旅行の形態	同左	
	—	新型コロナによる旅行行程等の変化	
南城市までのアクセス	南城市までの交通手段	同左	観光客の路線バスの分担率
	路線バス利用者の支払い方法	—	
	—	レンタカーの借り受け状況(H30で把握)	
	交通に関する情報収集状況	同左	
	交通手段選択理由	同左	
南城市の観光	南城市観光の情報収集状況	同左	
	観光施設の認知度	同左	
	南城市訪問利理由	同左	
	立ち寄り先と移動手段	同左	
	南城市観光の満足度	同左	
	南城市への再来訪意向	同左	
おでかけなんじい	おでかけなんじいの認知度	—	
	おでかけなんじいが内場合の訪問意向	—	
	行程変更の可能性	—	
新たな取り組みへのニーズ	—	GTFSの認知度、Nバス等のGTFS対応についての認知度、GTFSデータの利用状況	
	—	MaaSの認知度、MaaSへのニーズ、MaaSに取り込んでほしいサービス	
	—	上記サービス導入による公共交通転換の可能性	
その他	自由意見	同左	

3.3 中間評価

- 網計画に示された施策 1-1～施策 5-8 までの 28 の施策の進捗状況を整理します。
- また、市民アンケート結果や観光客アンケート結果等をもとに、網計画に示されている中間評価対象の 11 の評価指標の評価を行います。
- なお、進捗が遅れている施策や、中間評価結果が目標達成に向けて厳しい場合は、施策の見直しなどの改善策を検討します。

表 9. 網計画の施策との今年度の進捗予定

施策	網計画における今年度の進捗予定
施策 1-1：中核地でのバスターミナルの整備	暫定実施
施策 1-2：市外への幹線バスの運行及び既存系統の見直し	暫定実施
施策 2-1：市内の支線バスの運行	暫定実施
施策 2-2：新たなバス路線網等に対応した乗り継ぎ施設の整備検討	検討
施策 2-3：安座真船待合所への路線バスの乗り入れ	実施
施策 2-4：幹線バスと支線バスのダイヤの連携	実施
施策 3-1：おでかけなんじいの継続運行	実施
施策 3-2：久高航路の継続運行	実施
施策 3-3：公共駐車場でのパーク&バスライドの実施	検討
施策 3-4：送迎用乗降場の整備検討	検討
施策 3-5：駐輪場の整備検討	検討
施策 3-6：高齢者向け定期券の導入	検討
施策 3-7：学生向け定期券の導入	検討
施策 3-8：乗り継ぎ割引の導入検討	検討
施策 3-9：市内上限運賃導入検討	検討
施策 4-1：公共交通運行情報モニターの導入検討	検討
施策 4-2：多言語表示による公共交通情報の影響	検討
施策 4-3：公共交通アテンダントの導入検討	検討
施策 4-4：ハイグレードバス停の整備検討	検討
施策 4-5：快適な待合施設の整備検討	検討
施策 5-1：観光客への公共交通に関する情報提供の実施	実施
施策 5-2：レンタカーステーションの整備検討	検討
施策 5-3：レンタサイクルの導入検討	検討
施策 5-4：遊覧バスの導入検討	検討
施策 5-5：市内 1 日乗車券の導入検討	検討
施策 5-6：モビリティ・マネジメントの実施	実施
施策 5-7：イベント等の実施検討	検討
施策 5-8：車両等の魅力向上策の実施検討	検討

表 10. 網計画の評価指標と目標値

基本方針	指標	現況値	目標値	把握方法	評価年度
①中核地を中心に市外へスムーズに移動できる公共交通網を形成する。	バスターミナルの数	3箇所	1箇所 〔中核地に集約〕	実績	2020 (R2)、 2023 (R5)、 2026 (R8)
	中核地から市外への運行系統数	0系統	3系統 〔那覇、与那原、 八重瀬方面を 想定〕	実績	2020、2023、 2026
	路線バスのルート の満足度	2.9点 /5.0点	4.0点/5.0点 〔再編により、や や満足(4点) まで向上〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
②中核地等での乗り継ぎによりスムーズに市内を移動できる公共交通網を形成する。	中核地とまちの拠点 を結ぶ運行系統数	0系統	4系統 〔佐敷、知念、玉 城、大里方面と 連絡〕	実績	2020、2023、 2026
	路線バスの運行 頻度の満足度	2.0点 /5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点 満点の中間値〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
③誰でも気軽に利用できる身近な移動手段を確保する。	デマンドバス登 録者数	4,000 人	8,800人 〔10年間で 4,800人増加、 創生戦略に準 拠〕	デマンド登 録データ	毎年
	パーク&ライド 用駐車場の整備	0箇所	1箇所 〔中核地を想定〕	実績	2023、2026
	路線バスの運賃 の満足度	2.4点 /5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点 満点の中間値〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
	公共交通の分担 率	1.6%	3.2% 〔10年間で倍増〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
④再編による効果を高めるため、公共交通の利用環境を充実する	路線のわかりや すさの満足度	2.8点 /5.0点	4.0点/5.0点 〔再編により、や や満足(4点) まで向上〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
	バス停の整備状 況の満足度	2.8点 /5.0点	3.0点/5.0点 〔10年間で5点 満点の中間値〕	市民アン ケート	2020、2023、 2026
⑤南城市の活性化に向け、人の流れを活発にする	観光客の路線バ スの分担率	2.0%	4.0% 〔5年間で倍増〕	観光客アン ケート	2020、2023、 2026
	需要喚起に向け たイベント実施	0件	1件 〔10年間で毎年 実施するイベ ントづくり〕	実績	2026